



今年も鳳鳴高校野球部が雪玉作りに協力してくれました。



シェルターに隠れながら攻撃開始！



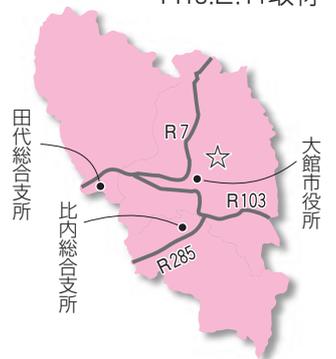
歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド²¹

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「大館樹海ドーム」

H19.2.11取材



昨

年の「平成18年豪雪」とは打って変わって、今年の雪の少なさは、これはこれで記録的な現象らしい。今日も真冬の2月の天気とは思えないほどの青空。田んぼのあぜが黒く見えているところもあるくらい。ぴい・かんの天気に誘われて、ふらりと樹海ドームへ来てみると、突然ワーツと元気な歓声！第9回を数える秋田県小学生雪合戦大会で盛り上がっています。ムム、今回の「あつてグッド」はこれで決めっ！

雪

合戦が行われるコートは、センターラインを挟んで敵味方に分かれ、敵の雪玉から身を守るシェルターが数カ所と、ポールに旗を付けたフラッグが左右に一本ずつ設置されています。各人が持ち場に付き、前もって立てた作戦どおりに、監督の合図で素早く攻撃を仕掛けていきます。バイザーの付いたヘルメットとゼッケンを身に付け、真剣な眼差しの小学生は実にカッコイイ！幼いときに遊んだ雪合戦が、ここまで進化していたのかと初めて見る中高年のかたは、うれしくて涙するかも（ちよっと大げさ？）。ここで簡単にルール説明を…。1チームは7人で、フォワード4人、バックスが3人の構成。もちろん、全員が雪玉を相手選手めがけて投げ付けることができますが、フォワードが雪玉のある後方まで戻れない

とか、使用できる雪玉の数が決まっているとか、雪玉の攻撃を縫って相手コートにフラッグを奪取すると一発逆転勝ちのルールもあつて、とてもスリリング！1セットは3分の時間制限があり、2セットを取ると勝ち。ウムム、見ているこつちまで思わず熱くなってきそうな…。

今

年の参加チームは全部で19チーム。県北から集まったチームのほかには、強豪の青森県から2チーム、そして大館と交流の深い渋谷区から3チームが出場。大会はすでに予選リーグを勝ち抜いた8チームで決勝トーナメントが行われています。昨年の活躍の渋谷区からのチームは、予選ですべて敗退。ノー残念。地元大館勢は、有浦小学校の「スノーマンズⅡ」と桂城小学校の「桂城デビルバツァ」が残りましたが、「スノーマンズⅡ」は、決勝トーナメント初戦で惜しくも負けちゃいました。ゲームを終えた「スノーマンズⅡ」



決勝トーナメントまで
勝ち進んだ「スノーマンズⅡ」



学校では陸上部。
「幅飛びが好きです」
と桜井くん。